

平成26年度自己評価・学校関係者評価書

宮崎市立生目台西小学校

4…よくあてはまる 3…ややあてはまる 2…あまりあてはまらない 1…全くあてはまらない (評価基準：4と3で80%以上はA、60～80%はB、60%以下はC)

評価項目	児童	保護者	教師	評価委員	現 状	改善・対策	学校関係者評価委員の意見等
1 先生は、分かりやすい授業をしている。	A	A	A	A	<p>○三校合同で学力向上に取り組んでいる。「わかる・できる・鍛える」授業づくりを通して、意欲をもって学び合う児童生徒を育成することを目標としている。</p> <p>○基礎学力の定着を目指し、繰り返し学習に取り組み、家庭と連携した家庭学習の充実を促している。また、Web単元学習など読解力や思考力を育てる問題に取り組んでいるが、全国学力・学習状況調査の結果、活用する力を高めていかなければならないことが明らかになった。</p> <p>○「1分前着席」「チャイム黙想」の取組は少しずつ定着してきているが、学級や教科によっては徹底していないところもある。</p> <p>○教師の授業力向上を目指し、一人一研究授業に取り組み、互いに気付いたことを述べ合う教師集団体制が整ってきた。そのほか、算数少人数指導や社会・理科の教科担任制など、指導体制の工夫を継続実践してきた。</p> <p>○読書量に関しては昨年度よりも伸びている。1月現在、1人平均の年間貸出冊数は140.2冊。6月の読書月間の利用数が多いなど、担任の働きかけに負うところが多い。学校での図書利用は増えてきたが、家庭での読書習慣が定着していないためか、保護者・児童自身の読書に関する評価は低い。</p> <p>○授業中に手を挙げて発表するなど、意欲的な学習態度に対する児童の自己評価は低かった。</p> <p>○家庭での学習習慣に関しては、三者とも評価が高かった。ここにも、三校合同で取り組んできた成果が表れているものと思われる。</p>	<p>○三校共通理解のもと、同じ土俵に立って、目指す児童生徒を育成していく。研究の組織体制はほぼ出来上がったので、「1時間の授業の流れがわかる板書」など、分かりやすい授業を目指し、工夫改善を重ねていく。</p> <p>○CRTテストの結果を各学年・学級ごとに分析し、改善策について全体で話し合っていく。また、本年度改善され、効果のあった取組については、引継をしっかりと行っていく。</p> <p>○1時間、1時間の授業を大切にするとという校風は、学力向上の根幹に関わることで、今後も継続実践していく。特に始業時刻を守ることを徹底させ、授業時間と休み時間の違いを理解させることを通して、メリハリのある学校生活を過ごせるようにしていく。</p> <p>○学力面に関しては、学級懇談だけでなく、通信等で現在の取組や課題等の情報を提供し、家庭と一体となった取組の土壌づくりを目指したい。</p> <p>○低学年のうちから、本を借りて読書するという習慣を身に付けさせたい。また、読書意欲を喚起し、マンガに偏らない、幅広いジャンルに親しむ児童を育てたい。</p> <p>○教育機器を活用した授業が多く展開されるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。今後は、児童一人一人の学習意欲を喚起する工夫改善が望まれる。具体的には、授業中の声かけや授業後の励ましなど、人対人、教師対児童の関わりを通して地道な改善を図っていききたい。</p> <p>○どの学級も家庭学習習慣を高める工夫を行っている。家庭と連携をとりながら推し進めていききたい。</p>	<p>○まずは「わかる」授業の取組で学習意欲が定着し、「できる」喜びを味わうことで学力が伸びていくと思われる。このまま意識的に学力向上へと導いてほしい。</p> <p>○家庭学習の中では読書に充てる時間は少ないだろう。本の貸出が増えてきたことは成果が大きいだが、読んでいるか疑問。</p> <p>○教師の声かけ、見過ごさないということが、家庭学習につながっていると思われる。</p> <p>○一学年一学級になると、先生の負担がかなり増えてくる。学年を横断しての取組が今以上に必要になってくるだろう。</p> <p>○自宅での学習習慣については保護者の対応によって両極になっているように思われる。自宅での対応が厳しい家庭においては、地域としても何らかの支援が必要であると思う。</p> <p>○授業の充実等、学力向上に向けて三校合同で取り組んでいる研究の成果が表れつつあると思う。</p> <p>○学習内容の定着は、「質の高い授業」と「継続的な宅習」にかかっていると考えている。その在り方を追究してほしい。</p> <p>○情報機器が発達する今日、書物に接し活字を通して得る知識等は、時代を超えて必要なので、今後も指導をお願いしたい。</p> <p>○将来の夢へ繋がる教育の充実、読書活動・図書館教育の充実を図ってほしい。</p> <p>○始業時刻を守ること、けじめのつけ方、小学生のうちに当たり前のようにできることが、中学生になって重要である。</p> <p>○家庭での習慣は、家庭環境にもかなり違いがある。評価も高く、家庭でも意識づけができているのでよいと思う。</p> <p>○三校合同で学力向上に取り組み、様々なやりとりをする中で生徒指導の共通理解も生まれてくることを期待する。</p> <p>○家庭の協力がUPすれば学力が更にUPするので、土壌作りをお願いしたい。一人一人、全員を対象にしていきたい。</p> <p>○基礎学力の定着が完全になされているか、常に確認をお願いしたい。</p> <p>○学校参観をすると、教室のすみずみまで校長先生の教育に対する強い思いが行き渡っており、教師は一生懸命に教え、児童はそれを真剣に学び取ろうとする姿が見受けられ、校長先生による優れた学校経営がなされている。</p> <p>○落ち着いた雰囲気の中で授業に集中している児童の姿を見た。</p> <p>○グループ活動では率先して活動に取り組む児童の姿が見られたが、一部に参加できない児童がいた。活動の目標を一人一人につかませる工夫がさらに望まれる。</p>
2 先生は、基本的な内容が身に付くような取組や授業をしている。	A	A	A	A			
3 子ども達は、本をよく読んでいる。	B	B	A	A			
4 子ども達は、授業に意欲的に取り組んでいる。	B	A	A	A			
5 子ども達は、自宅での学習習慣が身に付いている。	A	A	A	A			
6 子ども達は、学校生活を楽しんでいる。	A	A	A	A	<p>○児童の学校生活に関する問いに対し、児童、保護者、教員ともに96%以上が「楽しい」と答えている。</p> <p>○あいさつは、児童や保護者は「よくできている」と評価しているが、教師の約3分の1が「あまりできていない」と評価している。</p> <p>○毎朝の校門でのあいさつは元気よくできているが、それ以外の時間帯・場面でのあいさつ・会釈がもう少しであった。</p>	<p>○児童が「学校生活が楽しい」と感じることは最も大切なことであるので、生活面だけでなく、学習面でも充足感が得られるよう、学級経営に力を入れていきたい。</p> <p>○あいさつのよくできる児童を紹介するなどして称賛し、学校全体のあいさつ運動を高めたい。</p>	<p>○各項目の児童・保護者の評価が「A」になっていることは、学校に対する信頼が高いという証である。今後も、親身になって寄り添っていただきたい。</p> <p>○「改善・対策」欄に、いじめの対応は「～組織的に迅速に」とあり、一丸とならなければ解決は難しい。</p> <p>○校外での、あいさつ（自ら進んで）が十分とは言えない。大人からの積極的なあいさつ・言葉かけも必要だと思う。</p> <p>○子どもの道徳教育と合わせて、親の道徳教育も必要である。</p> <p>○「学校が楽しい」ということは、とてもすばらしいと思う。</p> <p>○日々の教師の努力であると考え。忙しい中、学校と家庭との</p>
7 子ども達は、あいさつがよくできている。	A	A	B	A			

8	先生は、相談事や悩み事などについて、適切に応じてくれる。	A	A	A	A	<p>○いじめに関しては、「生目台西小学校いじめ防止基本方針」に基づいて対処することを全職員共通認識している。また、いじめ根絶週間を年3回設定し、善行を紹介し合う掲示活動や異学年とのふれあい活動などに取り組んでいる。</p> <p>○児童が抱えた悩みを掌握するために、全校児童を対象とした「すこやかアンケート」を実施し、そこから上がってきた気になるケースについて教育相談を行っている。その他の取組としては、異学年の交流活動や善行を掲示するコーナーを設けるなどして、児童同士のよりよい関係を醸成している。</p> <p>○道徳の時間の充実をねらい、10月の参観日に全校一斉の道徳の授業を行った。</p>	<p>○「いじめは決して許されない行為である」という基本的な考え方を踏まえ、生目台西小学校からいじめの一扫を目指していく。そのために、教育活動全体を通して自己有用感や規範意識を高めていく。また、いじめの早期発見・早期対応に努める。解決にあたっては、特定の職員が抱え込むことのないよう、学年や学校全体で組織的に迅速に対応にあたるようにする。</p> <p>○児童数の減少に伴い、学年の枠を越えた交流活動はますます重要視される。現在行っている遊びのほか、合同体育・合同音楽や地区集団下校など、教育課程内外の取組を検討していく。</p> <p>○道徳の参観授業については、家庭と一体となった道徳教育を推進していく上で今後も継続していく。また、参観日の取組として保護者にも関心の高かったテーマについては、資料と共に引き継いでいく。</p>	<p>関係が良好で、よく連携がとれていると思う。</p> <p>○教師～児童～家庭とが風通しのいい関係にあると思われる。</p> <p>○学校が楽しいのは意欲にもつながっていくので、雰囲気も良いと感じられる。</p> <p>○「あいさつは大人から」と意識をもって、地域からも声かけしていきたい。</p> <p>○子どもが口に出せないことも、アンケートを通して問題の糸口が見つかる可能性がある。悩みの解決に取り組めてよい。</p> <p>○道徳は、親の価値観で家庭で様々な考え方があがる。子どもだけでなく、家庭と取り組むのは有意義である。</p> <p>○不登校児童がいないのは学校が楽しい場所だと感じている証拠なので、学校の努力に感謝。保護者の信頼も厚い。</p> <p>○地域の子ども会もなくなり、縦つながりがなくなっていくのではないかと心配。異学年とのふれあい活動は進めてほしい。</p> <p>○全校一斉の道徳参観授業は、兄弟姉妹・保護者との共通の話題になるのでとてもよい取組である。</p> <p>○地域で見かける児童は、どの子も生き生きといて明るい表情をしている。</p> <p>○「学校が楽しい」と答えられなかった4%の児童の支援を今後も継続してほしい。すこやかアンケートと教育相談は、悩みを抱えた児童の早期発見やサポートに役立っている。</p>
9	先生は、子ども達のことをよく理解している。	A	A	A	A			
10	先生は、道徳やマナーなど人としての生き方を教えている。	A	A	A	A			
11	学校は、命を守る安全教育や防災教育に取り組む、事故防止に努めている。	A	A	A	A	<p>○「まちコミメール」の加入率が85.8%と昨年に比べ下がったが、緊急時の連絡には大いに役立っている。</p> <p>○体力テストの結果、昨年度に比べ、男女ともに握力と立ち幅跳びが伸びていた。8種目を総合的にみると、総合得点で全国平均を上回っており、体力がついてきたことがわかる。特に高学年では昨年度より男女ともに伸びている。一方で、50m走、上体起こし、ボール投げでは、ほとんどの学年で全国平均を下回っていた。</p> <p>○昼休み時間に外で遊ぶ児童が多いが、遊ぶ内容に偏りが見られ、高学年になるほど、遊ぶ児童と遊ばない児童との二極化現象や個人差が生じている。</p> <p>○「ファミリー健康」と題し、夏休み期間中に親子でテーマを決めて取り組んだ。テーマは、運動、生活習慣、食生活に関するもので、昨年度は62.5%の参加率であったが、今年度は82.9%と大きく伸びた。家庭における健康志向の高まりが感じられる。</p> <p>○「お弁当の日」を設定し、学年に応じた取組を行い、家庭との連携を図った食育を推進している。給食指導については、給食調理員を交えた給食運営委員会を開き、食に関する指導の充実を図っている。</p>	<p>○「まちコミメール」については、年間を通してその重要性を説き、90%以上の加入率を目指すようにする。</p> <p>○防災訓練の一環として、引渡し訓練を実施した。次年度は、より現実的な場面を想定した訓練を行い、保護者へも危機意識を高める手立てを講じたい。</p> <p>○体力テストの結果に基づいた「体力向上プラン」を作成し、更なる体力向上の底上げを目指す。体育の時間のはじめにサーキットトレーニングを取り入れたり、1時間の授業の流れを提示したりして、技能の向上と運動量の確保に努める。</p> <p>○姿勢改善、集中力向上、食欲増進等に効果の見られる「立腰指導」に取り組む。</p> <p>○保健便りや給食便りを発行し、健康面や食事面からの体づくりについて情報提供を行う。また、全校あげて「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組む、規則正しい生活習慣を身に付けるようにする。(児童・保護者の評価90%以上)</p> <p>○「ファミリー健康」に関しては、台西小のよき伝統として今後も継続して取り組み、90%以上の参加を目指したい。</p> <p>○家庭科や学級活動をはじめとして、「食」の大切さを指導する。給食に関しては、アレルギーをもつ児童には個別に除去食を準備するなどして、安全な給食の提供に心がけているが、今後もさらにチェック体制を厳密にして安全性の向上に努める。</p>	<p>○防災意識と共に防犯意識も高めてほしい。</p> <p>○学校や地域での実践により、防犯・防災に関する意識・実践の向上が感じられる。「生命の尊重」を基盤にした、このような取組は何よりも優先して継続してほしい。</p> <p>○体力向上、体づくりについては、家庭の協力もよく得られていることがうかがえる。あとじは、結果につながるよう内容を工夫する。</p> <p>○子どもの教育が学校への丸投げの傾向がある。家庭でやるべきことはしっかり伝えていくことも必要である。</p> <p>○「食」と「運動」は、健康維持・増進の基礎基本である。幼少の頃から、しっかりと身に付けさせたいものである。</p> <p>○生活リズム「早寝・早起き・朝ご飯」を今後とも指導・充実させてほしい。</p> <p>○学校通信等が充実され、開かれた学校づくりに期待できる。</p> <p>○学校からの緊急メールは、とても助かっていた。特に不審者情報はいち早くメールが届き、対策をとることができた。</p> <p>○子ども達にとって、健康、食事、生活習慣はとても大事なことで。家庭だけでは補えない部分も多々あり。学校任せにしないことも意識しなくてはと、ご指導に感謝するものです。</p> <p>○ファミリー健康は初めて耳にした。親子で取り組めてよい。</p> <p>○ファミリー健康の取組はとても良い。保護者への働きかけが成功している。このまま頑張してほしい。</p> <p>○安全マップ作りの際に給食をいただき大変感動した。保護者も給食を体験すると家での食育がうまいくのではないかと。</p> <p>○「体力向上」を目指し、1時間の授業を大切に指導させているのは大変良い取組だと思う。</p> <p>○地域の中では、公園にいてもゲーム等をして過ごしている児童の姿をよく見かけた。家庭への啓発を継続していくことが望まれる。</p> <p>○遅くまで数名で遊んでいる児童の姿が見られた。保護者や地域へ帰宅時刻の目安を知らせ、児童へ声かけが行われると良い。</p>
12	学校は、子ども達の体力を高める取組を行っている。	A	A	A	A			
13	学校は、健康な生活リズムを身に付けた子どもを育てるために、家庭と連携しながら取り組んでいる。	A	A	A	A			
14	学校は、食の大切さなど、食に関する指導に取り組んでいる。	A	A	A	A			